

総務の 365日

離席時・退社時は必ず整理整頓

クリアデスク導入のメリットとは？

オフィスの在り方が大きく変化中、情報漏洩や個人情報の紛失など、オフィスにおけるセキュリティ対策はこれまで以上に強く求められるようになってきました。セキュリティ対策のひとつに「クリアデスク」という方法があります。この記事では、クリアデスクを導入するためのポイントについてご紹介いたします。また、クリアデスクにはセキュリティ対策以外にも様々なメリットがあります。ぜひこれからの働き方を考える際に参考にしてください。

1. クリアデスクとは

クリアデスク（あるいはクリーンデスク）とは、離席・退社の際、デスクの上に物を放置しないことです。オフィスのセキュリティ対策のひとつで、書類やUSBなどの廃棄・盗難・紛失を防ぎます。

また、フリーアドレスやグループアドレスを導入している場合はクリアデスクが必須です。フリーアドレスとは、一人ひとりに決められた座席が設定されているのではなく、ワーカーが自由にデスクを選んで仕事を行うオフィス形態です。デスクはワーカー全員の共有物になるため、次に座る人のためにデスクの上を何も無い状態にしておく必要があります。



2. クリアデスクの導入方法

クリアデスクをオフィスに導入するためには2つのポイントがあります。スムーズに定着させるため、まずはこれらを意識して取り組みましょう。

■ポイント1: ルールを決める

まずは、ワーカーが守るべきクリアデスクのルールを決めましょう。ルールはできるだけシンプルに、かつクリアデスクを行うの背景を説明した上で、経営者などからトップダウンで伝えると効果的です。

最初は片付ける対象を機密性の高い情報に限定する、デスク上をウェットティッシュで拭いて退席するなど、心理的ハードルの低いものから始めるのもおすすめです。忘れてしまうワーカーに対しては、定期的に管理者がチェックしたり、ワーカー同士での指摘を促すと良いでしょう。

■ポイント2: 環境を整える

クリアデスクを導入するには、デスクの上以外に荷物を収納する場所が必須です。特に、鍵の付いたロッカーやキャビネットはセキュリティの向上に有効です。クリアデスクを導入するタイミングで、書類の断捨離やペーパーレスに取り組むと、収納スペースの削減にも繋がります。

フリーアドレスを行う場合は、個人ロッカーの導入がおすすめです。退社する際、全ての荷物をロッカー内に収めるルールはシンプルで、導入する企業が増えています。組織内で共有する資料が多い場合は共用キャビネットを設け、部署や保存年数、重要度などを色別に分けると、管理しやすくなります。



個人の持ち物は個人ロッカーへ収納。



共用キャビネットは管理ルールを決めましょう。

3. クリアデスクの4つのメリット

■メリット1: セキュリティ対策の向上

オフィスは、個人情報などの重要なデータを多く保有しています。これらが漏洩すれば、取引先や顧客からの信頼・信用を失い、大きな損失を招く可能性があります。クリアデスクを徹底することによって、機密情報が記載された書類やUSBといった記憶媒体の廃棄・盗難・紛失を防ぐことができます。また、クリアデスクの定着は、ワーカーのセキュリティに対する意識の向上も期待されます。

■メリット2: 業務の効率化

デスク上が整理整頓されていると、必要なものがすぐに取り出せ、探す時間を減らせます。コクヨの調査では、1人あたりの書類を探す時間は、1日平均20分。1年に換算すると約80時間に相当するという結果も出ています。クリアデスクが定着すると、ものを探す時間を仕事に充てられるため、生産性向上に繋がります。

利用頻度の高い書類は、右下の写真のようなファイルボックスにまとめると便利です。出社時に、自分のキャビネットやロッカーから取り出してデスク上に置けばすぐに業務空間が整い、離席時・退社時にもかたんに収納することができます。

■メリット3: 衛生面の維持



クリアデスクのルールの一つに、退席時の清掃を加えるとオフィスを清潔に保つことができます。決まった場所にウェットティッシュや除菌スプレーなどを設置し、手軽に清掃できる環境を整えることで、ワーカーの衛生面に対する意識も向上し、ウイルスの感染防止にも繋がります。

■メリット4: 緊急時対策の向上



コクヨ震が関ライブオフィスの「掃除セット」です。清掃を喚起するサインを設置すると、より定着しやすくなります。

クリアデスクが徹底されていると、地震などの際に物や書類が床に散乱することを最小限に抑えられ、避難時間の短縮や災害対策活動へのスムーズな移行にも効果が期待できます。また、日頃から利用頻度の高い書類を整理したり、ペーパーレス化を進めていることによって、感染症の流行などで急ぎテレワークに切り替える場合などにも素早く対応することが可能です。

このように、クリアデスクにはセキュリティ対策以外に、様々なメリットももたらされます。クリアデスクは、ワーカーの意識や行動を変えることによって、低コストで実現可能です。これからのオフィスや働き方を見直す際は、ぜひクリアデスクの導入も検討してみてください。

詳しくは

<https://www.kokuyo-marketing.co.jp/>



リニューアルのきっかけ

働き方改革によるさらなる生産性の向上と、テレワーク導入によりオフィス改革に挑戦。より柔軟で安全な働く場の実現に向けて、オフィスを一新することに。



リニューアル前の課題

- 背の高い収納庫などで各部門が区切られており、部門間のコミュニケーションが取りづらい
- コロナ感染対策の一環でテレワークを導入したが、固定席だと出社時に隣り合わせになるなど、席の効率が悪い



解決のポイント

- 収納庫と書類を削減、部門間の壁になっているものを取り払い、社員同士の顔が合わせやすく、見通しの良いオープンオフィスにリニューアル
- 部門ごとのグループアドレス制を導入
集中ブースやミーティングエリアなどを新設
安全な距離を保ちつつコミュニケーションを意識し、一人ひとりが働き方を考えながら行動できる場づくりを行った

※「グループアドレス」とはフリーアドレスの種類の1つで、部署やチームなどのメンバーが指定された範囲内の席に自由に座るオフィス形態です。



「スマートオフィス」を合言葉に、オフィスと働き方をアップデート グループアドレス制やクリアデスクの導入により、機動性や衛生面に対する意識も向上

- | | | | | | |
|---|---|--|--|--|---|
| <p>1
リニューアルを機にグループアドレスを導入。デスク上にはモニターのみ設置し、各自ノートPCを繋いで利用。持ち物は全て個人ロッカーへ収納し、クリアデスクを実践中。</p> | <p>2
部門を問わず、自由に利用できるオープンミーティングエリア。親しみやすい色のチェアや芝をイメージした緑色のカーペットによって、開放的な場づくりを行いました。</p> | <p>3
リビングのような優しい色合いのソファ席。テーブル横にディスプレイを備えているため、ペーパーレスのミーティングも可能です。</p> | <p>4
半個室のミーティングブース。コロナ禍によってテレワークを行う社員が増えたため、オンラインミーティングにも活用中。</p> | <p>5
執務エリアとは少し離れた場所に、周囲を気にせず業務をブース席を新設。集中したい時や、機密性の高い業務を行う時など、メリハリを付けて利用するようにしています。</p> | <p>6
オフィス内のラウンジエリア。休憩以外にもカジュアルなミーティングやソロワークまで多目的に利用可能。シックな色合いで統一し、執務エリアと気分を入れ替えられるようにしました。</p> |
|---|---|--|--|--|---|



今回のリニューアルによって、これまでの組織の壁がなくなり、コミュニケーションが取りやすいオフィスになりました。グループアドレスやクリアデスクなども定着し、整然としたきれいなオフィスが保たれています。リニューアル後、社内から働く環境について意見が出るようになった点も変化の1つです。その都度課題を

解決し、よりスマートなオフィスづくりを目指してこうと考えています。
富士電機ITセンター株式会社
(右)業務企画部 人事総務課 課長 補佐 高橋 市子様
(左)業務企画部 人事総務課 津田 彰一様

お客様情報

富士電機ITセンター株式会社 東京事業所

所在地 | 東京都日野市富士町1番地
 設立年 | 1994年3月11日
 従業員数 | 178人
 事業内容 | コンピュータ・ネットワーク関連ソフトウェアの開発 など